

母子保健

母子保健は、生涯を通して健康な生活を送るための第一歩であり、また、次の世代を担う子どもが健やかに生まれ、育つための基礎でもあります。少子化、核家族化や女性の社会進出の増加などにより、子どもを産み育てる環境は変化しています。家庭や地域などと連携して、安心して妊娠、出産、子育てなどができる母子保健事業を推進します。

母子保健の4つの目標と市民の取り組み

妊娠・出産に関する安全性と快適性の確保

妊娠中は、喫煙や飲酒をしません
両親教室などを積極的に利用します
妊婦健康診査など受診します

子どものこころの安らかな発達の促進と育児不安の軽減

父親が積極的に育児に参加し、母親と協力して子育てを行います
地域全体で子育てを温かく見守り、必要に応じて支援します

子どもの安全と環境整備

子どもの事故防止に努めます
子どもの周囲では、たばこを吸いません
子どもに予防接種を受けさせます

思春期の保健対策と健康教育の推進

思春期を始め、全ての人が自らの性に関する正しい知識を身につけます
未成年者は、喫煙や飲酒をしません
家庭と地域において、薬物の乱用などを許さない環境をつくれます